

# 【研究ノート】

## 否定文の応答としての yes と no

渡 邊 信

### 1. はじめに

英語の yes と no は、同意や不同意を表す。一見、単純だが、先行する文が否定（疑問）文である場合、その用法は大変複雑であることが知られている (Farkas & Roelofsen (2012), Kramer and Rawlins (2009), Krifka (2013, 2018))。

否定（疑問）文に対する応答として一般的には (1a) と (1b) のパターンが容認されると考えられている<sup>1</sup>：

#### (1) 否定（疑問）文に対する応答

- a. <yes, 肯定節> (E.g.) Yes, I did.  
b. <no, 否定節> (E.g.) No, I didn't.

本誌第 18 巻掲載の拙論「英語の否定疑問文に対する日本語的な応答」(以下 渡邊 (2012)) では Huddleston & Pullum (2002, pp. 879-886)<sup>2</sup> に基づき (2a) と (2b) も可能であることを示した：

#### (2) 否定（疑問）文に対する応答

- a. <yes, 否定節> (E.g.) Yes, I didn't.  
b. <no, 肯定節> (E.g.) No, I did.

本稿は渡邊 (2012) の続編であり、構成は以下の通りである。まず §2 で 2 つの応答パターンを説明するために、2 種類の yes と no を提案する。1 つ目は「後方照応的 (cataphoric)」な yes と no で (1a) と (1b) のパターンで使用される。2 つ目は「前方照応的 (anaphoric)」な yes と no で (2a) と (2b) のパターンで使用される。

特に前方照応的な yes と no は学校で教えられることは恐らくないだろうから、日本人英語学習者には奇妙に感じられるかもしれない。定説では、日本語の「はい」と「いいえ」の使用パターンと英語の yes と no は逆になるはずである：

日本人が混乱してしまいやすい英語表現のひとつが「否定疑問文」です。これは、Do you like studying English? (英語の勉強は好きですか?) という疑問文を、「Don't you like studying English? (英語の勉強は好きではないのですか?)」と否定形の疑問文で尋ねるというもの。日本語の場合、「いいえ、好きです」、「はい、好きではありません」と返答するのに対し、英語では「Yes, I do. (はい、好きです)」、「No, I don't. (いいえ、好きではないです)」と反対になるのです。頭では理解できていても、咄嗟に判断することが難しい部分だと言えるでしょう。

(翻訳会社 FUKUDAI のウェブページから引用)

上記は誤りではないものの、あくまで n't が前置される否定真偽疑問文にのみ当てはまる記述である。別タイプの否定疑問文、および否定平叙文による陳述に対する応答では、yes と no の異なる振る舞いが顕在化する。§3 では、< yes, 否定節>、< no, 肯定節> の実例をコーパス、小説、洋画、海外ドラマから引用し、前方照応的な yes と no が実は頻繁に使用されており、決して珍しい用法ではないことを示す。§4 では、前方照応的な yes と no が n't が前置される否定真偽疑問文に対する応答では使用できない理由に関して論じる。§5 では本稿の議論をまとめる。

<sup>1</sup> 例えば (ia, b) に対する応答と考えて欲しい：

(i) a. Did you not hear us? (The Movie Corpus)

b. Maybe, you didn't hear us. (COCA, Corpus of Contemporary American English)

<sup>2</sup> 以下 H & P (2002) と省略する。

## 2. 2つのタイプの yes と no

### 2.1 後方照応的 (cataphoric) な yes と no

N't が助動詞や be 動詞に接語化して主語の前に置かれる否定疑問文に対しては、< yes, 肯定節 > および < no, 否定節 > が応答として使用される。例えば、否定真偽疑問文 (3) の答えは (4a) か (4b) のどちらかである<sup>3</sup>：

- (3) Didn't you go? (行かなかったんですか?)  
 (4) a. Yes, I did. (いいえ、行きましたよ。)  
 b. No, I didn't. (はい、行きませんでした。)

((3) - (4a,b) とも 渡邊 (2012) から引用)

Yes は後続する肯定節と、no は否定節といわば対を成して使用される。便宜的に後方照応的 (cataphoric) な yes と no と呼ぶことにする：

#### (5) 後方照応的 (cataphoric) な yes と no

a. YES, [s ... 肯定形 ... ]



b. No, [s ... 否定形 ... ]



日本語を第1言語とする英語学習者にはとても習得が難しい英語の事実である。(4) の括弧内の日本語訳を見れば明らかのように、日本語では <はい、否定節> <いいえ、肯定節> という逆パターンが使用される。この対比を以て、否定疑問文への応答では英語の yes・no と日本語のはい・いいえの使用法は逆である、などと言われることも多い。(7a, b) が (6) の応答としては容認されないことから、日本語には後方照応的な「はい」「いいえ」はないと考えていだろう：

(6) 行かなかったんですか?

- (7) a. \*はい、行きましたよ。  
 b. \*いいえ、行きませんでした。

<sup>3</sup> (3) はいわゆる否定の認知的バイアス (negative epistemic bias, 詳細は H & P (2002) を参照のこと) を表出する。すなわち、話者は文脈などから相手が「行かなかった」と思っている。

このタイプの否定真偽疑問文は肯定の認知的バイアスを表出することもできる：

(i) (Watanabe (2011), *No Reservation* (洋画))

Isn't that a little personal?

(ちょっと個人的な話過ぎるじゃないですか?)

(i) のように肯定表現 (positive polarity item, e.g., a little) を含む否定真偽疑問文は肯定の認知的バイアスを表出する (H & P (2002))。また、(4a, b) においては、I did と I didn't はもちろん省略することができる (Kramer & Rawlins (2009))。

### 2.2 前方照応的 (anaphoric) な yes と no

①否定平叙文、②否定表現が主語の後ろに置かれる否定真偽疑問文、そして③否定平叙疑問文、に対する応答として < yes, 否定節 > と < no, 肯定節 > を使用できることはあまり知られていない：

(Krifka (2013) の (2) - (3) を改変; maybe は筆者が追加した)

(8) A: Maybe you did not steal the cookie.

[ 否定平叙文 ]

B<sub>1</sub>: Yes, I did. / No, I didn't.

[ 後方照応的な yes と no ]

B<sub>2</sub>: Yes, I didn't. / No, I did.

[ 前方照応的な yes と no ]

(9) A: Did you not steal the cookie?

[ 否定真偽疑問文 ]

B<sub>1</sub>: Yes, I did. / No, I didn't.

[ 後方照応的な yes と no ]

B<sub>2</sub>: Yes, I didn't. / No, I did.

[ 前方照応的な yes と no ]

(10) A: So you did not steal the cookie then?

[ 否定平叙疑問文 ]

B<sub>1</sub>: Yes, I did. / No, I didn't.

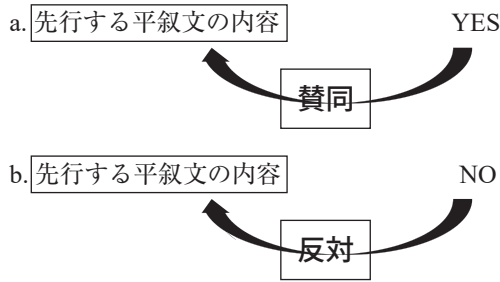
[ 後方照応的な yes と no ]

B<sub>2</sub>: Yes, I didn't. / No, I did.

[ 前方照応的な yes と no ]

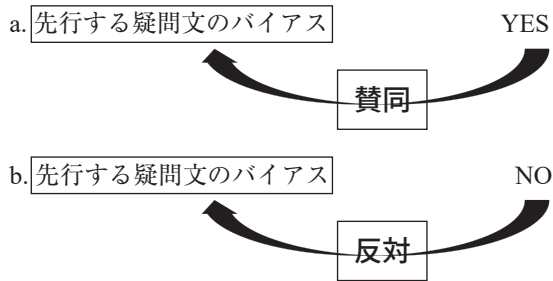
(8) - (10) の話者 B<sub>1</sub> の応答は後方照応的な yes と no を含む一般的なく yes, 肯定節 > と < no, 否定節 > である。一方 B<sub>2</sub> の応答が日本人英語学習者にはあまりなじみがないであろう < yes, 否定節 > と < no, 肯定節 > である。(8) では話者 A の発話は否定平叙文 (= クッキーを盗んだのはおそらく君ではない) である。B<sub>2</sub> の Yes はこの A の発言内容に同意する為、No は反対するために使用されている。ここで使用されている yes と no は先行文の意味内容を直接参照するので、便宜的に前方照応的 (anaphoric) な yes と no と呼ぶことにする：

(11) 前方照応的 (anaphoric) な yes と no ①:



(9) では A の否定真偽疑問文は否定の認知的バイアス (= I guess you did not steal the cookie) を表出する。すなわち A は B<sub>2</sub> がクッキーを盗っていないと思っている。Yes はこの否定バイアスに同意するため、No は反対するために用いられている:

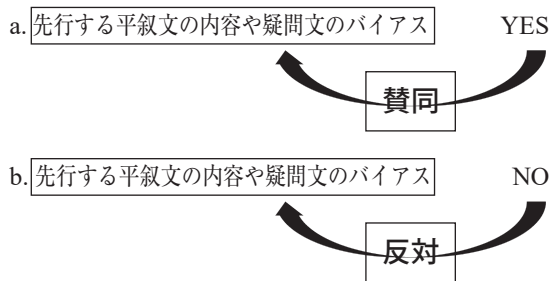
(12) 前方照応的 (anaphoric) な yes と no ②:



(10) に関しても同様に、A の否定平叙疑問文は否定の認知的バイアス (= I guess you did not steal the cookie) を表出している。A は B<sub>2</sub> がクッキーを盗っていないと思っており、Yes はこの否定バイアスに同意するため<sup>4</sup>、No は反対するために用いられている。

(11) と (12) は以下のように統合できるだろう:

(13) 前方照応的 (anaphoric) な yes と no:



<sup>4</sup> この yes の用法は (i) の positive の使い方と並行的である:

(i) (COCA)

A: You mean your hands are like this, and you can't get out?

B: Positive. Can't do a thing.

Positive は先行する否定平叙文の否定認知的バイアスへの同意を表している。

N'tが前置される否定真偽疑問文の応答としてなぜ<Yes, 否定節>と<No, 肯定節>が使用できないのが課題となる:

(14) A: Didn't you steal the cookie?

[ 否定真偽疑問文 ]

B<sub>1</sub>: Yes, I did. / No, I didn't.

[ 後方照応的な yes と no ]

B<sub>2</sub>: \*Yes, I didn't. / \*No, I did.

[ 前方照応的な yes と no ]

(\*は例文が「容認不可能」であることを表す。)

この問題は §4 で論じる。

### 3. 前方照応的 (anaphoric) な yes と no の実例

本稿では渡邊 (2012) に基づき、2種類の yes と no を提案している。1つ目は< yes, 肯定節>と< no, 否定節>に現れる後方照応的 (cataphoric) な yes と no である。2つ目は< yes, 否定節>と< no, 肯定節>に現れる前方照応的な yes と no である。冒頭でも述べたが、< yes, 否定節>と< no, 肯定節>は日本語の「はい」と「いいえ」の使用パターン (e.g., 「しなかったの?」—「はい、しませんでした/いいえ、しました。」) と同一である。だから、< yes, 否定節>と< no, 肯定節>は英語では間違いであると思いついでいる日本人英語学習者もいると思う。本セクションでは、< yes, 否定節>、< no, 肯定節>の豊富な実例をコーパス、洋画、海外ドラマから引用し、前方照応的な yes と no が実際には頻繁に使用されており、珍しい用法ではないことを示したい。

#### 3.1 < Yes, 否定節>の例

<Yes, 否定節>という形式の否定文に対する応答の例を示す。前方照応的な yes が先行文に同意を払わす:

(15) (*Sabrina: The Teenage Witch* (海外ドラマ), Season 1, Episode 2、( ) の英語は筆者が追加した)

Jenny: The truth is I'd rather go to The Slicery alone with Harvey tonight.

(本当は今夜はハーヴィーと二人でピザ食べに行きたいの。)

Sabrina: Just the two of you? (二人きりで?)

Jenny: I think Harvey and I might be soul mates and you said you only liked him as a friend, so you don't mind, right?  
(ハーヴェーと私って相性いいかも ..... ただの友達なんだから、気にしないよね?)

Sabrina: Yeah, sure (I don't mind).  
(ええ、もちろん(そんなの気にしない。))

(16) (*Friends* (海外ドラマ), Season 7, Episode 4, ( ) の英語は筆者が追加した)

Joey: Oh, you weren't finished?  
(え、まだ話し終わってなかったの?)

Rachel: Yeah (I wasn't finished)!  
(うん(終わってない)!)

(17) (*Chesapeake Shores* (海外ドラマ), Season 1, Episode 8, 36:37, ( ) の英語は筆者が追加した)

Abby: Gran. Were you not going to say goodbye?  
(おばあちゃん お別れの挨拶もしないつもりだったの?)

Nell: Yeah (, I was not). I didn't want to make a fuss.  
(うん、そうよ。騒ぎになるのが嫌だったんの。)

(18) (*The West Wing* (海外ドラマ), Season 1, Episode 3, ( ) の英語は筆者が追加した)

Toby: So we are really not gonna do anything about this?  
(では、本当に何もしないのですか?)

Leo: Yeah (, we are not), Toby, because what we really need to do is to arrest people for being mean to the President.  
(ああ、その通りだ、トビー。大統領に反抗的な態度をとった連中を逮捕してる場合じゃないだろ。)

### 3.2 <No, 肯定節>の例

<No, 肯定節>という形式の否定文に対する応答の例を示す。前方照応的な no が先行文に不同意を払わす:

(19) (COCA)

A: Did you not hear me, boy? Aren't you listening?  
(聞こえなかったのか? 聞いていないの?)

B: No, Father, I do.  
(いえ、神父様、聞いています。)

(20) (*The O.C.* (海外ドラマ), Season 1, Episode 12)

Sandy: Do you not wanna go to school?  
(学校に行きたくないのか?)

Seth: No, no, dad, no, I wanna go to school.  
(違うよ、お父さん、違うよ、僕は学校に行き

たいんだ。)

(21) (*The O.C.* (海外ドラマ), Season 1, Episode 24)

Sandy: Wait, did, did you not hear me?  
(待て、聞こえなかったのか?)

Caleb: No, I heard you. I just wanted to hear you say it again.  
(いや、聞いてたよ。もう一度聞きたかったんだ。)

(22) (*The Amazing Spider-Man* (洋画))

Gwen: What's your name? (名前は?)

Peter: You don't know my name?  
(私の名前も知らないの?)

Gwen: No, I know your name.  
(そんなことないよ、君の名前は知ってる。)

(23) (*Friends* (海外ドラマ), Season 8, Episode 14)

Rachel: Are you asking me to move out? You don't want me here?  
(私に出て行けというの? ここにいて欲しくないの?)

Joey: Oh, no, no, no, no, I love living with you.  
(いやいや、一緒に暮らすのは楽しいよ。)

(24) (*The American President* (洋画))

Sydney: So you didn't like it?  
(で、好みの味じゃなかった?)

Andrew: No, I loved it.  
(いや、おいしかった。)

(25) (*The O.C.* (海外ドラマ), Season 1, Episode 12)

Sandy: So you're not feeling well?  
(そうか、体調が悪いのか?)

Seth: No, I feel fine.  
(いや、大丈夫。)

(26) (COCA)

A: I take it you don't like school?  
(学校好きじゃないの?)

B: No, I love it.  
(いえ、大好き。)

(27) (COCA)

A: You don't like badminton?  
(バドミントン好きじゃないの?)

B: No, no, I love it.  
(いえ、いえ、大好きです。)

(28) (*The Devil Wears Prada* (洋画))

Nate: Hey, that's okay, that's fine. Just own up to it. And then we can stop pretending like we have anything in common anymore.

(なあ、いいんだ、いいんだよ。ただ、素直に認めろよ。それで、俺達に共通点があるようなふりをするのは、もうやめよう。)

Andy: You don't mean that, you ...  
(本気じゃないでしょ。)

Nate: No, I do.  
(いや、本気だ。)

### 3.3 前方照応的な No と後方照応的な Yes が混在する <No, yes, 肯定節> の例

否定文に対し、<No, yes, 肯定節>という形式の応答が散見される。これは、前方照応的な no と後方照応的な yes が混在するもので、no が先行文に不同意を払出し、yes は後続する肯定節を導く<sup>5</sup>：

(29) (*Charlotte's Web* (洋画), ( ) の英語は筆者が追加した)

Goose (F): So, you don't believe that someone might be smart and pretty?  
(では、賢くてしかもかわいい娘がいるかもしれないとは思わないの?)

Goose (M): No. Yes! I mean, yes, (I do) because you are.  
(いや、いや、つまり、イエス、あなたがそうだから。)

(30) (*Tuesdays with Morrie* (洋画): 15:20, ( ) の英語は筆者が追加した)

Morrie: Married with kids?  
(結婚は? お子さんは?)

Mitch: Uh, no. (いえ、まだ。)

Morrie: Haven't found anybody to share your heart with, huh?  
(運命の人にはまだ出会えていないわけだ?)

Mitch: No. Yes, I have. Definitely.  
(いいえ。いえ、大切な人はいます。もう。)

Morrie: Oh. Not enough to get married?  
(でも、結婚するほどの関係ではないわけだ?)

Mitch: Uh, no. Well, y-yes. I mean, you know, (I will) someday. But, uh, just when we're both ready.

(いえ、いえ、いつかは。2人とも準備できたら。)

(31) (COCA)

A: You're not sure?  
(確信ないの?)

B: No. I mean, yes, I'm sure.  
(いいえ、そのつまり、いいえ、確信があります。)

### 4. 前方照応的な yes と no を使用できない場合

英語では以下の3タイプの否定疑問文が使用される：

(32) 3タイプの否定疑問文の例 (疑問語疑問文を除く)

a. n't が前置される否定真偽疑問文：

Didn't you go? (=3)

(行かなかったんだ? (でも、行くべきでしたね。))

b. not などの否定表現が前置されない否定真偽疑問文：

Did you not go?

(行かなかったんだ? (でも、行くべきでしたね。))

c. 否定平叙疑問文：

You did not go?

(行かなかったんだ? (でも、行くべきでしたね。))

このうち、否定表現が主語の後ろに置かれる否定真偽疑問文 (e.g., (32b)) および否定平叙疑問文 (e.g., (32c)) に対する応答としては <Yes, 肯定節>、<No, 肯定節>の使用が可能である。対照的に、n't が前置される否定真偽疑問文 (e.g., (32a)) に対する応答としてはそれらを使用することはできない<sup>6</sup>：

(33) 前方照応的な yes と no を含む応答 ((32b) と (32c) の応答とはなれるが、(32a) の応答にはなれない)：

a. Yes, I did not.

<sup>5</sup> Grievs (2018) は British National Corpus (Spoken) からの用例を使って <yeah no> の用法を8分類している。同意 (agreeing)、反対 (disagreeing)、部分的反対 (partially disagreeing)、傾聴表示 (showing you're listening)、新アイデアの導入 (introducing a new idea)、熱意表示 (showing enthusiasm)、ヘッジ/ためらい (hedging/hesitation)、クラリファイする (clarifying)。(i) のように同意を表す場合が最も多く全体の35%とのことである：

(i) 同意を表す yeah no の例 (Grievs, 2018)

Speaker 1: I usually [...] find someone and then they move to Italy or something.

(だれか見つけるとすぐイタリアとか引っ越しちゃう。)

Speaker 2: Yeah no well that's it. (そうそう、で、それで終わり。)

Speaker 1: It's really annoying. (やんなっちゃうよね。)

b. No, I did.

この事実をどう説明するのが重要な研究課題である。

H & P (2002) は否定疑問文のバイアスの強さ (strength) という観点から説明を試みている。(32a) の否定認知的バイアス (「あなたは行かなかった」) は弱く、同意 (yes) あるいは不同意 (no) を表す対象となれない。一方 (32c) のバイアスは強く、同意 (yes) あるいは不同意 (no) を表す対象となれる。H & P (2002) は (32b) タイプの否定真偽疑問文を考察していないが、前方照応的な yes と no を応答として許すことから強いバイアスを持つことが推測される。

否定平叙疑問文が強いバイアスを表す論拠として、confidence marker と彼らが呼ぶ一連の表現 (e.g., no doubt, of course, surely, I take it など) の使用がある：

(34) (H&P's (39): 882)

- a. You're surely not going to agree?
- b. There isn't any chance of her changing her mind, I take it?

一方、弱いバイアスを持つとされる n't が前置される否定真偽疑問文では confidence marker を使用することができない：

(35) (H&P's (39): 882)

- a. \*Aren't you surely going to agree?
- b. \*Isn't there any chance of her changing her mind, I take it?

not が前置されない否定真偽疑問文では confidence marker を使用できることが予測されるが、english-corpora.org で提供されている各種大規模コーパスを用いた検索からは証拠となるデータを得られなかった：

(36) (容認度は今のところ不明)

- a. Are you surely not going to agree?
- b. Is there not any chance of her changing her mind, I take it?

< be 動詞 | do (および活用形) | have (および活用形) | 法助動詞 代名詞 surely not > という文字列を検索したが、例

<sup>6</sup> 例外と思われる例を 1 例見つけた：

(i) (COCA)

A: Don't you like my stubble? (僕の無精ひげが嫌いなのかい?)

B: No, I love it. (いいえ、好きよ。)

ここでは、no は後方照応的で、否定節が省略されていると考えたい：

(ii) B: No, (I do not just like it,) I love it.

文はヒットしない。< I take it ? > というパターンを検索すると、コンマの前は全て平叙文であった。

ここでは、代案を提示したい。H & P (2002) や Romero & Han (2004) によれば、n't が前置される否定真偽疑問文が否定の認知的バイアスを表す時には、肯定の当為的バイアス (should 読み / ... べきだ) が同時に表出されるとされる：

(37) Didn't you go? が否定の認知的バイアスを持つ時の解釈

I guess you didn't go. But you should have.

(行かなかったんだ? でも、行くべきでしたね。)

2層構造の解釈を持つため、前方照応的に同意・不同意を表す対象が理屈では3通りになってしまう。2層構造の①前半 (I guess you didn't go)、②後半 (But you should have)、あるいは③前半と後半 (I guess you didn't go. But you should have)、のいずれもが同意 (yes) / 不同意 (no) の可能な対象となる。このあいまいさが前方照応的な yes と no の使用を困難にしているものと考えたい。

ちなみに not などが前置されない否定真偽疑問も否定平叙疑問文も肯定の当為的バイアスを表すことはもちろんある。違いはおそらく、肯定当為バイアスは n't が前置される否定真偽疑問文の「構文としての意味」であるのに対し、否定表現が前置されない否定真偽疑問文や否定平叙文の場合には話者と聞き手が会話の含意 (Grice (1975), conversational implicature) として推論するものであり、談話の要請によりいつでもキャンセルすることができるであろう。

## 5. まとめ

否定文に対する応答の形式を説明するために2種類の yes と no を提案した。後方照応的 (cataphoric) な yes と no はごく一般的な用法で、< yes, 肯定節 > と < no, 否定節 > で使用される。日本語の「はい」と「いいえ」はこのパターンで使用できない。前方照応的な yes と no は日本人英語学習者にはあまりなじみがない用法で、< yes, 否定節 > と < no, 肯定節 > で使用される。§3では、< yes, 否定節 >、< no, 肯定節 > の実例をコーパス、洋画、海外ドラマから引用し、前方照応的な yes と no が実は頻繁に使用されており、決して珍しい用法ではないことを示した。§4では、

n't が前置される否定真偽疑問文に対する応答で前方照応的な yes と no を用いることができないのはなぜなのかを考えた。このタイプの否定真偽疑問文が否定の認知的バイアスを表す時には、肯定の当為的バイアス (should 読み /... べきだ) を「構文の意味」として常に表出する。その結果、解釈が2層構造となり、前方照応的な yes と no の使用が困難になるものと仮定した。

本稿で提示した記述と分析は、当然先行研究と詳しく比較される必要がある。観察に関しては概ね H & P (2002, pp. 879-886) と軌を一にしており、Swan (2005, 項目番号 634) とは相反する立場である。筆者の知る限り、理論言語学分野で yes と no の分析を提示しているのは以下の3つである：

- Kramer and Rawlins (2009) の省略を仮定する分析 (ellipsis approach)
- Farkas and Roelofsen (2012) の意味論的分析 (semantic approach)
- Krifka (2013) の yes と no を照応形とする分析 (“anaphor” approach)

いずれもそれぞれの著者の理論枠組みを仮定した極めて抽象度の高い分析である。言語理論の技術的詳に立ち入ることは、記述的な研究を試みた本稿の目的とはそぐわないように思うので割愛した。

脚注3でも紹介したが Grieves (2018) は British National Corpus (Spoken) から得た <yeah no> の用例を8分類している。COCA でも (38) のような事例が比較的多く見つかるので、<yeah no> は、イギリス英語のみならず北米英語でも使用されている表現である：

(38) (COCA)

- A: If you got a date tonight, cancel it.  
(今夜のデートがあるなら、キャンセルしなよ。)
- B: Oh, yeah, no, I don't have a...  
(ええ、そうね、でも、ないの...。)

詳しい検討は将来の研究に委ねたい。

## 参考文献

- Farkas, D., & Roelofsen, F. (2012). Polar initiatives and polar particles responses in an inquisitive discourse model. University of Amsterdam. Retrieved from [https://projects.illc.uva.nl/inquisitivesemantics/assets/files/papers/FarkasRoelofsen2012\\_Yale.pdf](https://projects.illc.uva.nl/inquisitivesemantics/assets/files/papers/FarkasRoelofsen2012_Yale.pdf)
- Grice, P. (1975). Logic and conversation. In P. Cole, & J. Morgan (Eds.), *Syntax and semantics* (Vol. 3, pp. 41-58). New York: Academic Press.
- Grieves, S. (2018). Using “Yeah no” in spoken English. Retrieved from World of Better Learning: <https://www.cambridge.org/elt/blog/2018/10/26/spoken-british-national-corpus-using-yeah-no-spoken-english/>
- Huddleston, R., & Pullum, G. K. (2002). *The Cambridge Grammar of the English Language*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Kramer, R., & Rawlins, K. (2009). Polarity particles: an ellipsis account. NELS, 39.
- Krifka, M. (2013). Response particles as propositional anaphors. *Proceedings of SALT*, 23, 1-18.
- Krifka, M. (2018). Response particles: The mysteries of yes and no. 5th NAFOSTED conference on Information and Computer Science (NICS), (pp. 60-65). Ho Chi Minh City, Vietnam. doi:10.1109/NICS.2018.8606803.
- Romero, M., & Han, C.-H. (2004). On negative yes/no questions. *Linguistics and Philosophy*, 609-658.
- Swan, M. (2005). *Practical English Usage* (3 ed.). Oxford University Press.
- Watanabe, S. (2011). Biased questions: Perspectives from the Hierarchical Semantic Model. *Reitaku University Journal*, 92, pp. 207-221.
- 渡邊信. (2012). 英語の否定疑問文に対する日本語的な応答. *麗澤レビュー /Reitaku Review*, 18, ページ : 58-63.

## 【オンラインコーパス】

- Davies, M. (2004-). *British National Corpus* (from Oxford University Press). Retrieved from <https://www.english-corpora.org/bnc/>
- Davies, M. (2008-). *The Corpus of Contemporary American English (COCA): 560 million words, 1990-present*. Retrieved from <https://www.english-corpora.org/coca/>
- Davies, M. (2019-). *The Movie Corpus: 200 million words, 1930-2018*. Retrieved from <https://www.english-corpora.org/movies/>

## 【文章を直接引用したウェブページ】

- 翻訳会社 FUKUDAI. (2023年3月11日). 英語と日本語の違いとは？ 翻訳表現から見る. 参照先 : <https://www.fukudai-trans.jp/blog/difference-english-japanese/>